

11 技術者育成

Global No.1 企業をめざす技術者育成

企業にとって最も重要な経営資源は、やはり”人財”。Global No.1の技術力獲得に向け、技術者育成は重要取組の1つである。技術革新統括本部では、注力する技術領域にフォーカスした上、NTTデータグループ全社員に、多様な教育プログラムを展開することで技術者育成を推進している。

年間3万人が受講する 実践的な教育プログラム

技術革新統括本部ではGlobal No.1の技術力獲得を実現するため、全社員が受講可能な実践的な育成プログラムを展開している。(図1) 2021年度には3万人超にトレーニングを提供した。

例えば「技統本塾」。社内トップ技術者が塾長となり、半年間、マンツーマンやゼミ形式で若手や中堅を教育し、技術関連の社外発表ができるレベルまで引き上げる。

「Digital Acceleration Program」は、事業部門からデジタル技術に強みを持つ組織へ異動し、2年で技術力を身につける社内留職プログラムだ。先進領域のプロジェクトを経験し、デジタルプロジェクトをリードするスキルを身に付ける。

また、上の異動プログラムとは別に各技術領域にて研修を社員向けや

お客様技術者向けに開発し、自社社員だけではなく社外開発者の育成も力を入れている。例えば、協力会社を含めた技術者の育成については、約800社の協力会社も対象とした「Altemista デジタル高度人材認定制度」を開始した。AltemistaとはNTTデータのDX実践ソリューション群のことで、認定制度を通じ、スキル向上をめざしてもらっている。既に、Agile 関連は年間4000人に近い研修を実施している。

また、その他、パートナーやNTTデータオリジナルの「デジタル技術研修」全体では年間1万人超が参加し、活況だ。そして、2022年、AWS社の協力の元、グループ内技術者交流イベントとしてAWSのトラブルシューティング力を鍛える「AWS Gameday」を開催した。国内外から140人が参加し、「Good Event!」「Can't wait next GameDay.」「グローバルカンパニーであること

を実感できた新鮮な体験」など好意的なコメントが寄せられた。

技術者交流は、グローバルで一体感を



株式会社 NTT データ
技術革新統括本部
企画部長 大西 壮輝氏

もった育成に繋がっている。

グローバルで質と量を伴った 技術者育成をめざす

これらの取組を通じ、トップ技術者も輩出している。一例だが、2022年にはAWSの卓越した技術力を有し研鑽が認められたプロフェッショナルのみが認定される「AWS Partner Ambassadors」に2名が選出され、会社を超えてパブリックに技術力を発揮した活動や成果がある技術者を選出する「APN AWS Top Engineers」に12名が選出されている。

今後も、NTTデータグループ全社員18万人に育成プログラムを届けられるよう施策を拡大し、Global No.1の技術力獲得を人財面からも加速させていく。

OFF-JT	OJT	認定制度
トップ技術者育成 「技統本塾」	社内留職プログラム 「Digital Acceleration Program」	約800社のパートナーを含む認定制度 「Altemista デジタル高度人材認定制度」
「デジタル技術研修」	コアテクノロジー人材育成 「Global Digital CoE」	
技術者交流イベント 「AWS Gameday」		

図1 技術革新統括本部 教育プログラム概要